

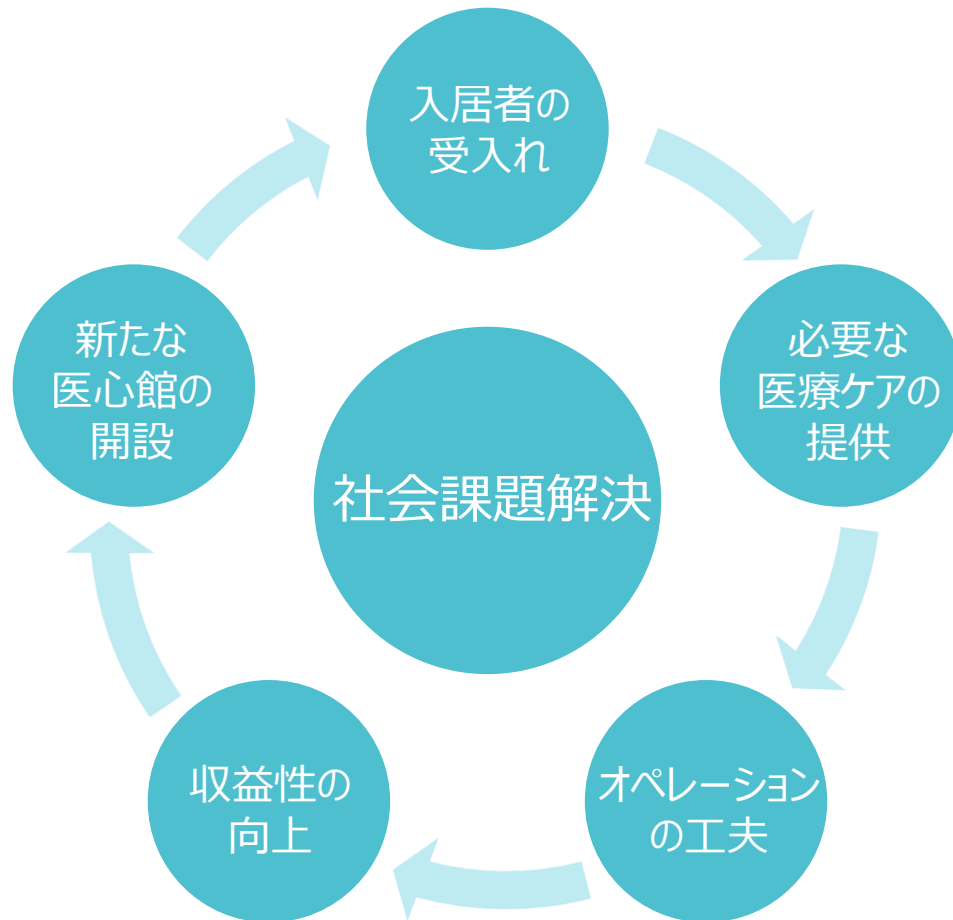


2024年9月期第3四半期
決算ハイライト

株式会社アンビスホールディングス

2024年8月8日

社会課題解決型事業



国により入院日数の短縮と在宅への復帰が推し進められているなか、退院後の行き先にお困りのことが多い、がん末期の方、人工呼吸器の装着や気管切開で呼吸管理が必要な方、そして神経変性疾患を患う方などを、医心館は積極的に受け入れてきました。そして、これまで担当されてきた主治医やケアマネジャーの継続を原則とするなど、地域医療がよりうまく機能するためのサポーターであることを意識してきました。

私たちは、地域医療の一翼となるべく、医心館事業の更なる拡大を目指すとともに、医心館事業で得たノウハウや人財を活かし、疲弊した医療機関や介護事業者を様々な形でサポートすることにより、地域医療の強化・再生へ一層貢献していきたいと考えています。

私たちの事業が、地域医療の活性化、医療従事者の疲弊軽減、医療の地域間格差の緩和の医療課題解決の一助になり、国の目指す医療介護制度の充実に寄与することを目指します。

24年9月期第3四半期累計業績

(第3四半期累計実績) 売上高

307.1億円

(通期予想) 売上高

426.3億円

(通期予想対比進捗率 : 72.0%)

(第3四半期累計実績) EBITDA⁽¹⁾

94.7億円

(EBITDAマージン : 30.8%)

(通期予想) EBITDA

123.4億円

(通期予想対比進捗率 : 76.8%)

注 :

1. EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額 + 株式報酬費用 (後頁同様)

- 既存施設の稼働率は安定稼働の目安である82~85%を若干上回る水準（87.1%）で推移し、新規施設の立ち上がりも堅調である他、適切なコストコントロールも継続し、業績は通期予想対比で堅調に推移
 - ✓ 売上高：307.1億円（通期予想対比進捗率：72.0%）
 - ✓ EBITDA：94.7億円（通期予想対比進捗率：76.8%）
 - ✓ 当期純利益：57.4億円（通期予想対比進捗率：79.1%）
- 第3四半期は、計画通り西日本2施設含む8施設の開設を実施し、24年6月末時点で、95施設（定員4,770名）を運営
 - ✓ 24年9月期：第4四半期には9施設を開設し、年間28施設の開設及び1施設の定員増を予定
 - ✓ 25年9月期：既に21施設の開設と1施設の定員増を公表し、3ヶ年計画で掲げた年間28施設の開設目安、及び25年9月末の目標である131施設（定員6,621名）の到達に向けて、今後も開設確定次第、順次公表予定
- 新たな試みとして、医療法人との連携による医心館開設を決定（詳細は後頁参照）
 - ✓ 地域の課題であった終末期・重度慢性期の在宅ケアニーズへの対応とともに、在宅医療活性化を企図
- ESGに関する取り組みにおいて、外部機関からの一定の評価を獲得（詳細は後頁参照）
 - ✓ MSCI ESGレーティングにて、23年6月のA評価から1段階格上げとなるAA評価を獲得
 - ✓ FTSE Blossom Japan Sector Relative Indexの構成銘柄に選定

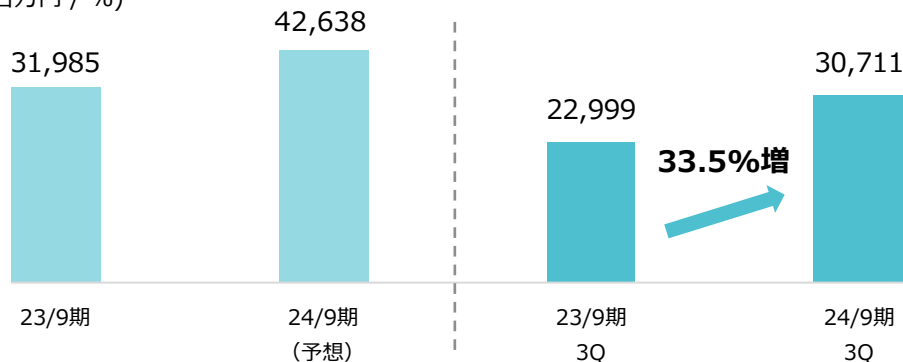
施設数・定員数の増加に伴い、売上・利益も着実に増加

- 前年同期末以降、施設数は25施設増加、定員数は約38%増加し、売上高、利益ともに順調に成長
- 通期予想対比進捗率は売上高（72.0%）、EBITDA（76.8%）、親会社株主に帰属する当期純利益（79.1%）のいずれも順調

第3四半期累計実績及び通期予想に対する進捗

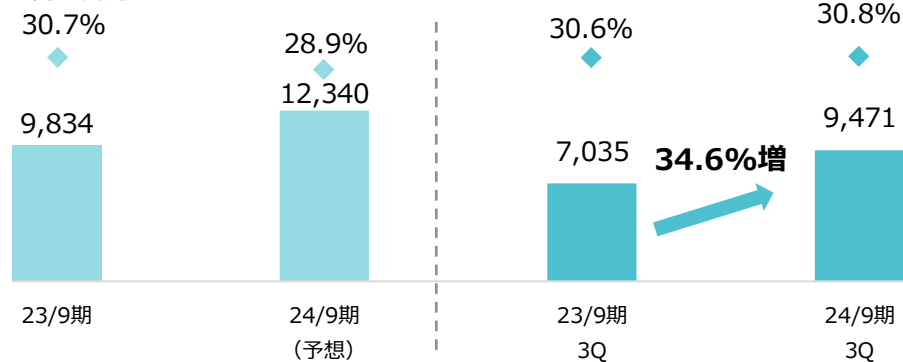
売上高

(百万円 / %)

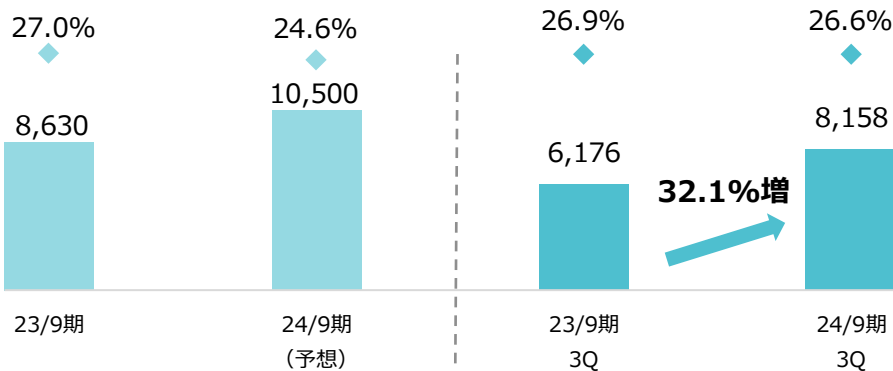


EBITDA

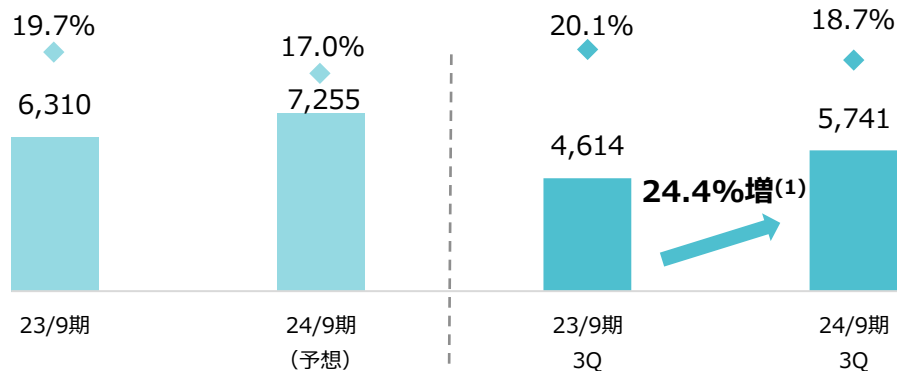
◆ : 売上高比



営業利益



親会社株主に帰属する当期純利益



注：

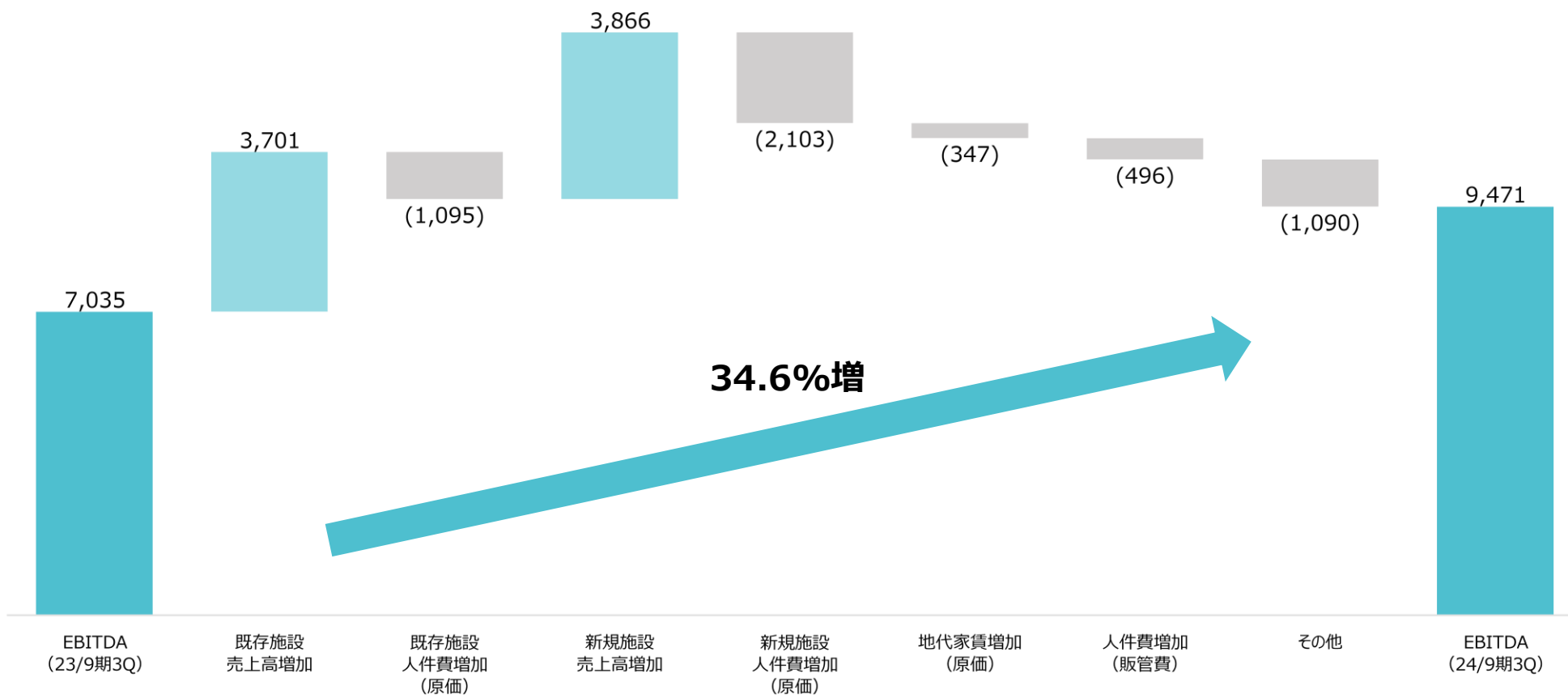
1. 特別利益（23/9期における四日市事業の譲渡益）を除く増益率は、32.6%

既存施設・新規施設共に稼働率は安定して推移

- 既存施設の稼働率（87.1%）、新規施設の稼働率（50~55%）⁽¹⁾ともに順調に推移

EBITDA推移（23年9月期第3四半期累計 – 24年9月期第3四半期累計）

(百万円)



注：

1. 新規施設：23/9期第3四半期末にて未開設の施設（後頁同様） / 稼働率：中央値

医療法人との連携による医心館の開設

- 明日の医療における医療機関との連携の一環であり、地域における在宅医療の強化・活性化にも貢献
- 医心館を活用し、医療法人の採算性の改善や医療従事者の疲弊軽減等の効果を企図

概要

- 24年7月1日、医療法人香徳会との連携による医心館開設の決定を公表
- 医療法人香徳会が運営する「関中央病院」（救急指定、150床）に併設されている「介護老人保健施設 太陽苑」を転用
- 必要な改修工事等を実施した後、アンビスが「医心館 関中央」を開設し、運営

開設施設

施設名	医心館 関中央
所在地	岐阜県関市（人口 8.4万人）
定員数	38名
改修工事期間	～1ヶ月

戦略的意義



- 迅速かつ低コストでの医心館開設
- 医療法人との協力関係を築き、地域の在宅医療基盤の強化へ貢献

医療法人
香徳会

- 関市の課題であった終末期・重度慢性期の在宅ケアニーズへの対応力向上と地域医療完結型医療体制の拡充

連携による医心館開設

- 21年4月中旬：医心館 本郷（介護事業者）
- 22年6月：医心館 菊名（介護事業者）
- 24年10月中旬：医心館 関中央（医療法人）

医心館開設計画

- 24年9月期は、28施設の新規開設及び1施設の定員増（計1,453名）を予定
- 25年9月期は、21施設の新規開設及び1施設の定員増（計1,106名）を公表済

24年4月以降の開設計画（～25年7月）

開設時期	開設場所	総定員数 (名)
24年4月	熊谷、小手指、藤枝	151
24年5月	市原、大垣	92
24年6月	一宮、岡山、和歌山	148
24年7月	海老名、豊中、両国	174
24年8月	高岡、千種、日吉	140
24年9月	亀戸、倉敷、南草津	164
24年10月	高田馬場、豊橋、宮崎、関中央	192
24年11月	大分、祖師谷	108
24年12月	高松、所沢、富山	167
25年2月	加古川、上板橋、六本松	161
25年3月	中村橋、東小金井	97
25年4月	木更津、平塚、広島横川、三島、浜松（定員増）	234
25年5月	王子公園、米子	101
25年7月	ひたちなか	46

全国の医心館



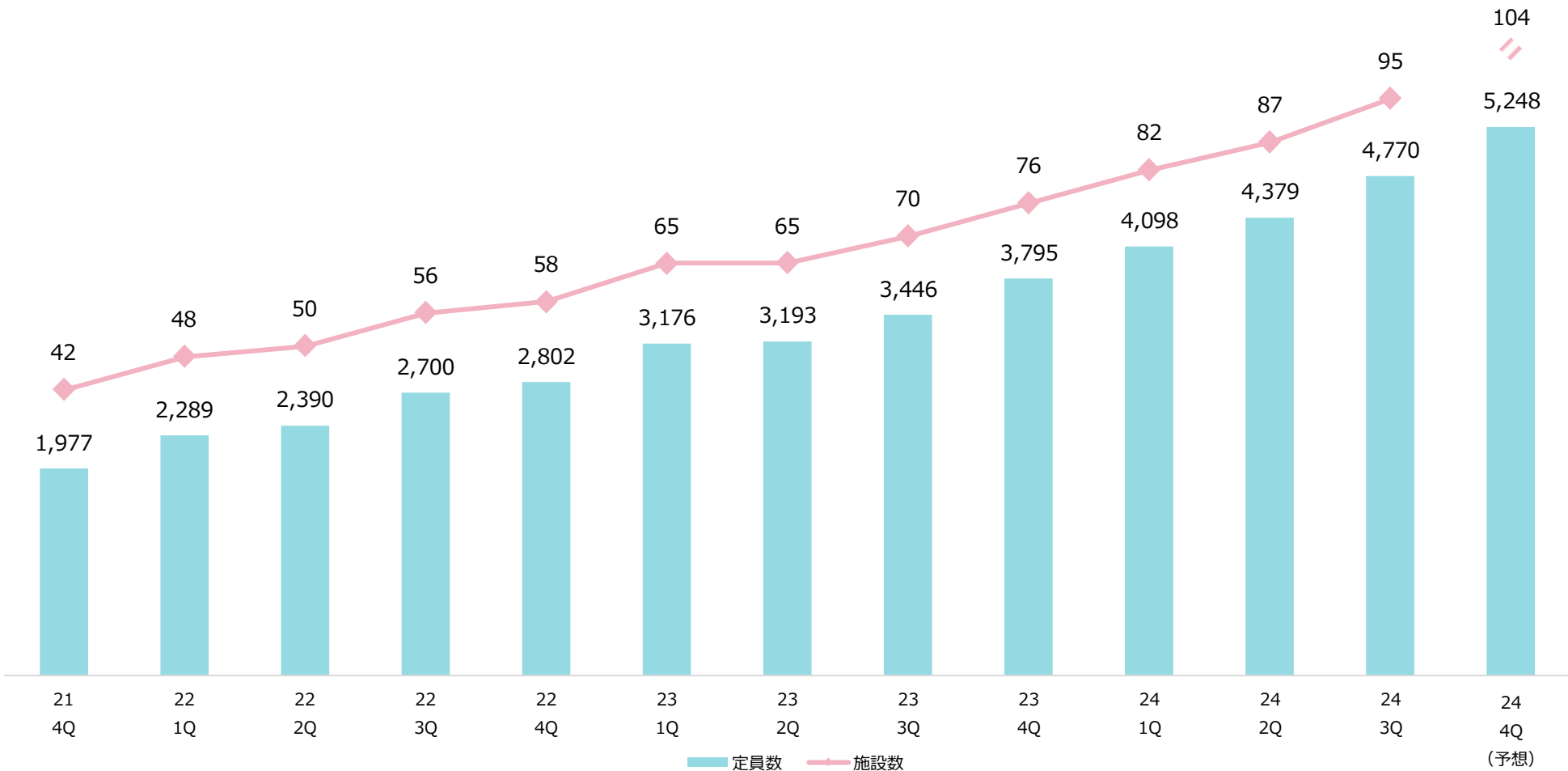
注：

1. 総定員数は、複数施設の定員数を合計したもの
2. 平塚の開設月は、24年11月から25年4月へ変更

四半期業績推移 – 施設数 / 定員数

施設数 / 定員数の推移

(施設 / 名)

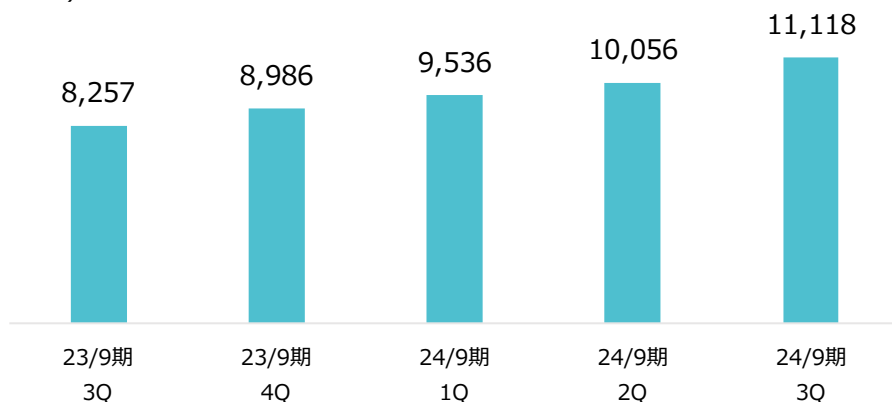


四半期業績推移 – 主要財務指標

直近1年間四半期業績推移

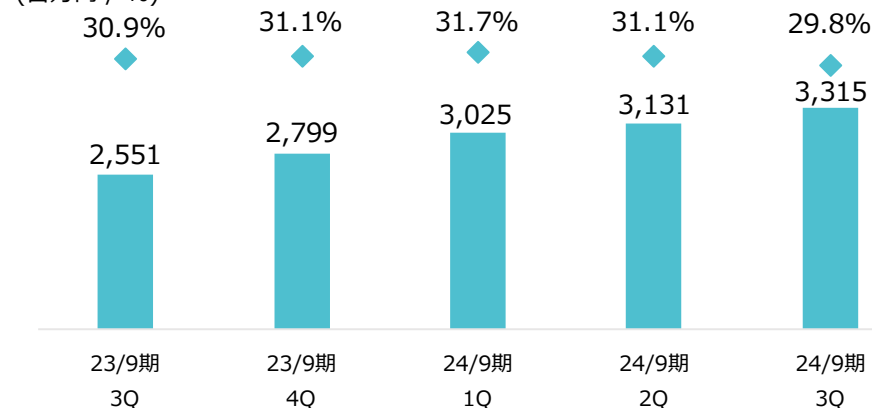
売上高

(百万円)

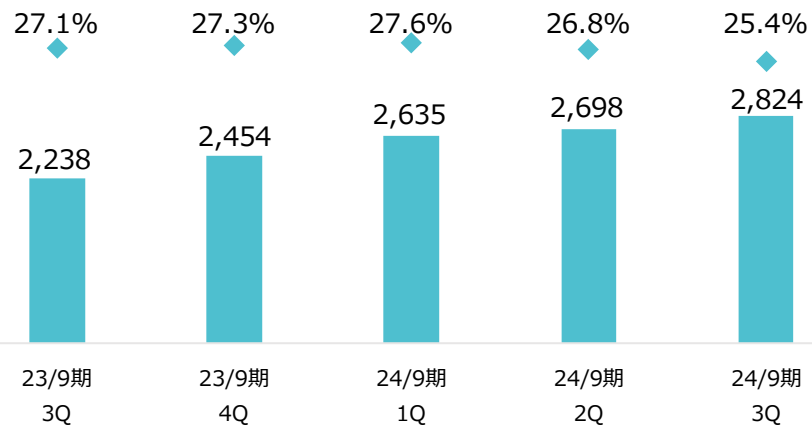


EBITDA

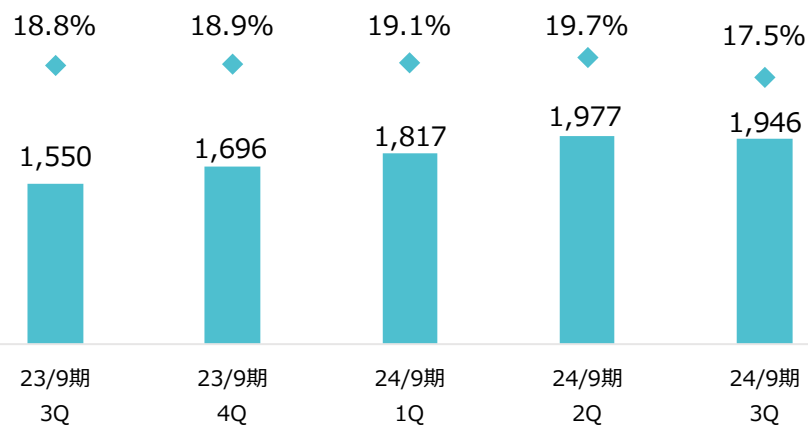
(百万円 / %)



営業利益



親会社株主に帰属する当期純利益

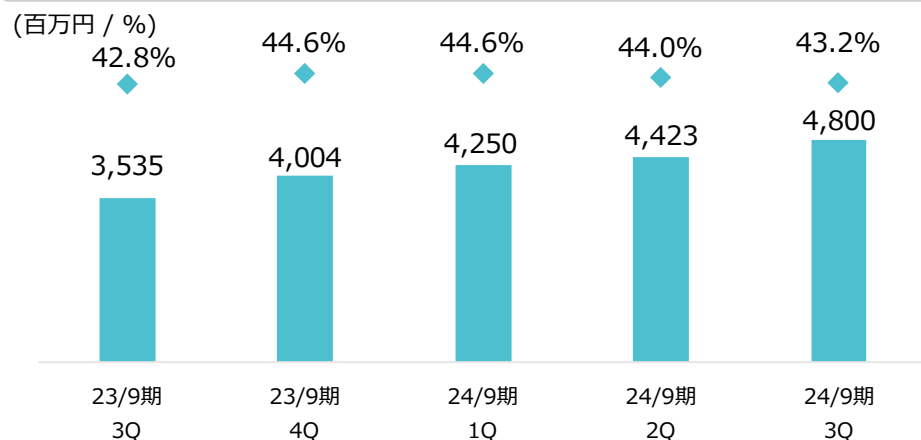


◆ : 売上高比

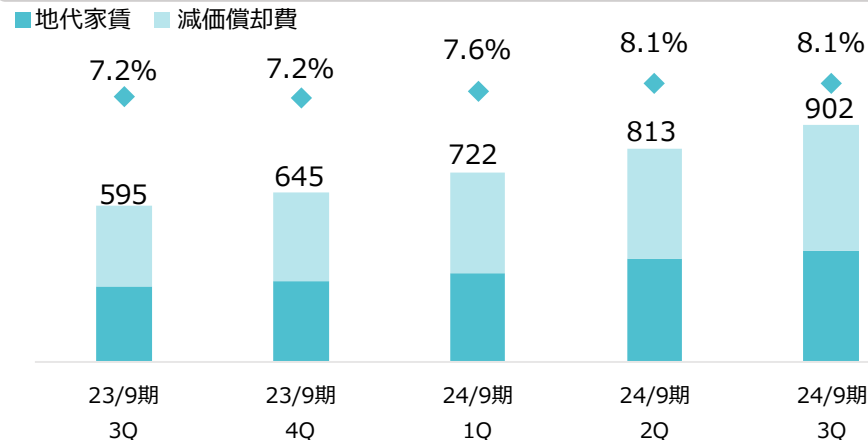
四半期業績推移 – 主要売上原価 / 販管費

直近1年間四半期業績推移

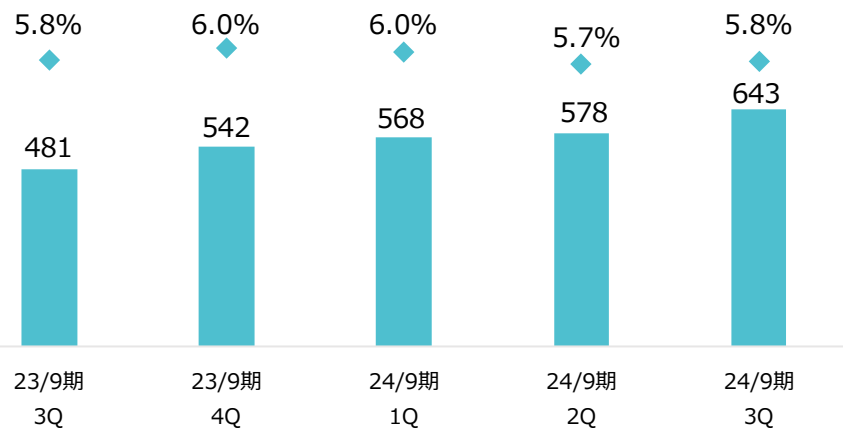
人件費（売上原価）



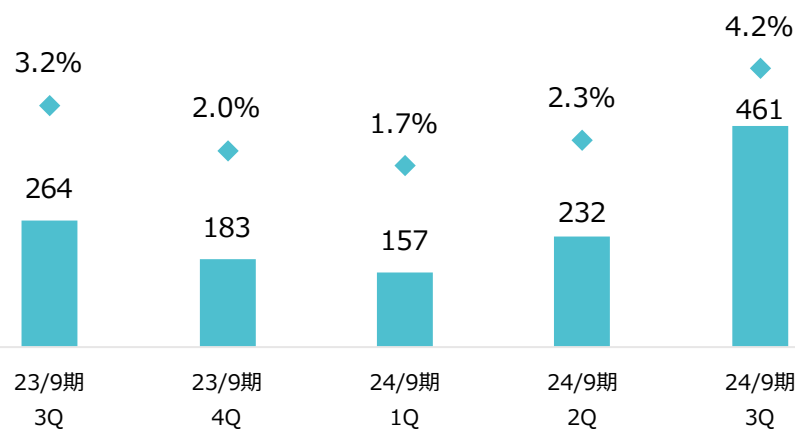
地代家賃及び減価償却費（売上原価）



人件費（販管費）



採用費（販管費）



◆ : 売上高比

財政状態概要

(百万円 / %)	22/9末	23/9末	24/6末	対23/9末 増減
資産	41,767	55,559	68,507	+23.3%
現金及び預金	11,342	12,128	9,139	(24.6%)
建物及び構築物（純額）	14,322	21,151	30,456	+44.0%
負債	21,308	29,036	36,525	+25.8%
借入金	12,711	17,394	23,225	+33.5%
純資産	20,458	26,523	31,981	+20.6%
自己資本比率	49.0%	47.7%	46.7%	(1.1pt)

- 当社のESGの取り組み及び開示は、MSCIやFTSE Russellといった外部機関から一定の評価を獲得

MSCI ESGレーティング

- MSCI ESGレーティングは、企業のESGリスクとリスク管理能力を総合的に評価するESG投資の世界的指標
- 23年6月のA評価から1段階格上げされ、AA評価を獲得

MSCI
ESG RATINGS



FTSE Blossom Japan Sector Relative Index

- 環境・社会・ガバナンス（ESG）の対応に優れた日本企業のパフォーマンスを反映するインデックスである、FTSE Blossom Japan Sector Relative Indexの構成銘柄に選定



**FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index**

注：

1. 株式会社アンビスホールディングスによる、MSCI ESG リサーチ LLCまたはその関連会社（以下「MSCI」）のデータの使用、およびMSCIのロゴ、商標、サービスマークまたはインデックス名の使用は、MSCIによる株式会社アンビスホールディングスの後援、承認、推薦、または宣伝を意味するものではありません。MSCIのサービスおよびデータは、MSCIまたはその情報提供者の所有物であり、「現状のまま」提供され、保証はありません。MSCIの名称およびロゴは、MSCIの商標またはサービスマークです。
2. FTSE Russell（FTSE International LimitedとFrank Russell Companyの登録商標）はここに株式会社アンビスホールディングスが第三者調査の結果、FTSE Blossom Japan Sector Relative Index組み入れの要件を満たし、本インデックスの構成銘柄となったことを証します。FTSE Blossom Japan Sector Relative Indexはサステナブル投資のファンドや他の金融商品の作成・評価に広く利用されます。



参考資料

Amvis 2025目標

(25年9月末) 施設数 / 定員数

131施設 / 6,621名

24年9月末 (予想) : 104施設 / 5,248名
23年9月末 (実績) : 76施設 / 3,795名
22年9月末 (実績) : 58施設 / 2,802名

(25年9月期) 売上高

565億円

24年9月期 (予想) : 426億円
23年9月期 (実績) : 319億円
22年9月期 (実績) : 230億円

(25年9月期) EBITDA

166億円

24年9月期 (予想) : 123億円
23年9月期 (実績) : 98億円
22年9月期 (実績) : 69億円

(22-25年) 当期純利益 年平均成長率

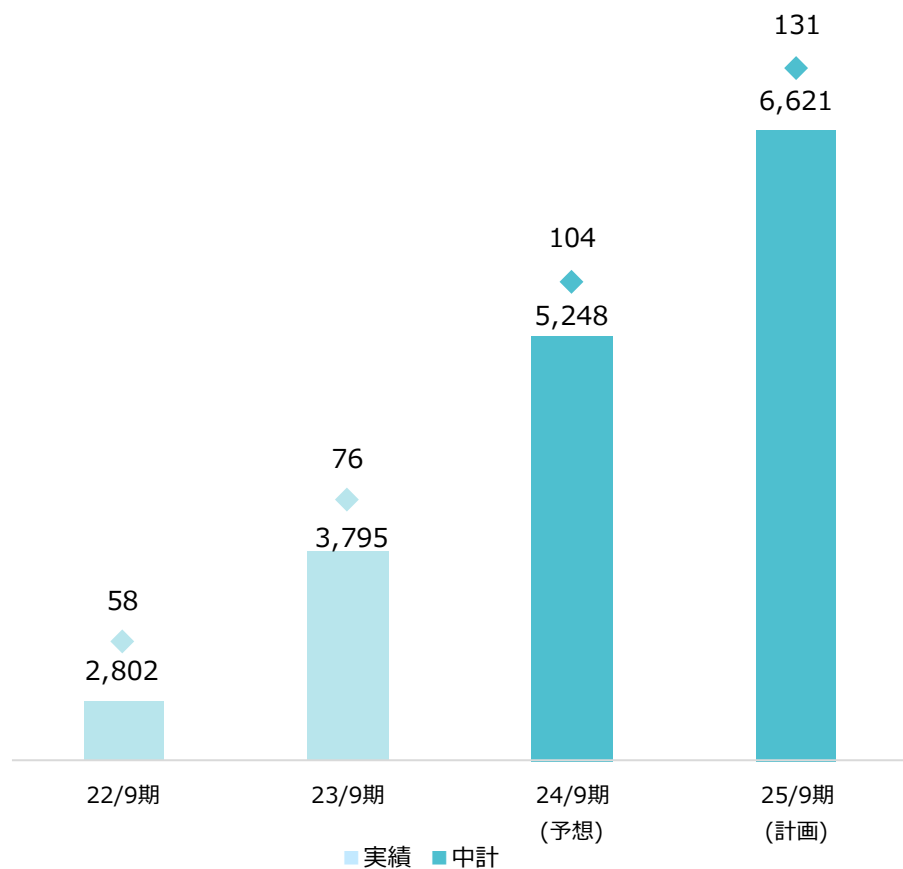
25%以上

20年9月期-23年9月期 (実績) : 72%

Amvis 2025目標

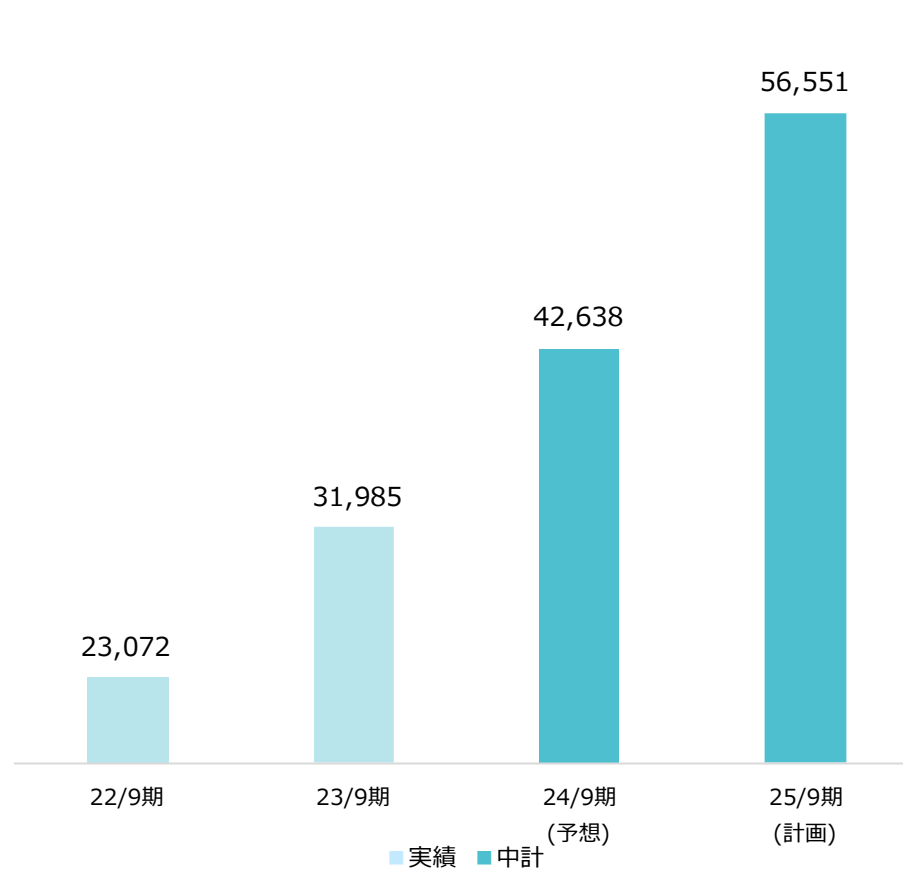
施設数 / 定員数

(施設 / 名)



売上高

(百万円)



Amvis 2025目標

EBITDA

(百万円)

年平均成長率(1)
33.6%

16,605

12,340

9,834

6,967

22/9期

23/9期

24/9期
(予想)

25/9期
(計画)

■実績 ■中計

当期純利益

(百万円)

年平均成長率(1)
30.6%

9,527

7,255

6,310

4,279

22/9期

23/9期

24/9期
(予想)

25/9期
(計画)

■実績 ■中計

注：

1. 年平均成長率は22/9期から25/9期（計画）までの3年間の数値

3ヶ年計画「Amvis 2025」

(億円)	21/9期	22/9期	23/9期	24/9期	25/9期
	通期	通期	通期	予想	目標
売上高	153.3	230.7	319.8	426.3	565.5
(対前年比)	+67.1%	+50.5%	+38.6%	+33.3%	+32.6%
EBITDA	43.3	69.6	98.3	123.4	166.0
(対前年比)	+100.7%	+60.8%	+41.1%	+25.5%	+34.6%
営業利益	37.8	61.3	86.3	105.0	139.5
(対前年比)	+101.7%	+62.0%	+40.7%	+21.7%	+32.9%
当期純利益	26.2	42.7	63.1	72.5	95.2
(対前年比)	+112.0%	+62.9%	+47.5%	+15.0%	+31.3%

注：

1. 当期純利益について、特別利益（23/9期における四日市事業の譲渡益）を除く対前年比は、+40.8%（23/9期）、+20.4%（24/9期）

開設戦略 - 東京都 / 大都市圏 / 地方における特徴

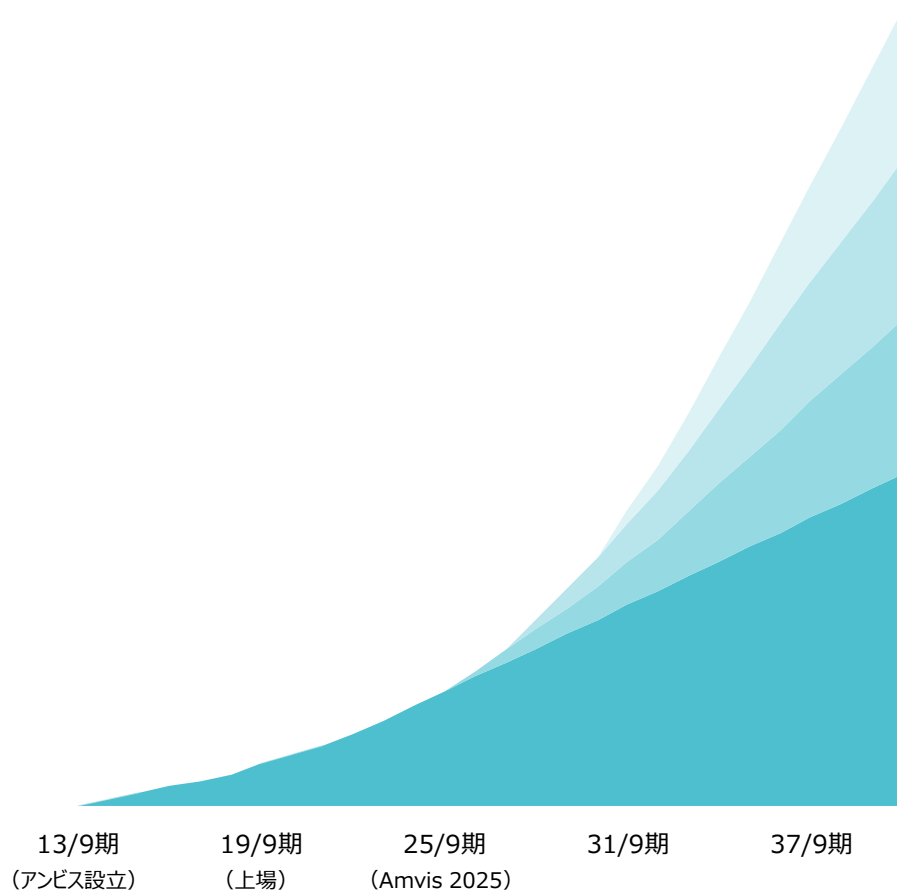
参考指標	市場規模 一都道府県あたりの 平均年間がん死亡者数 ⁽²⁾	開発費用/賃料 当社施設の 賃料・管理費 ⁽³⁾	看護師採用 一都道府県あたりの 平均就業看護師数 ⁽⁴⁾	医心館施設数 22年9月末時点⇒ 25年7月末時点 ⁽⁵⁾	Amvis 2025 (23/9期-25/9期)
東京都	 34,799人	 124,279円/部屋	 106,911人	 5施設⇒19施設 (+14施設)	シェア拡大を優先し 開設を加速 (~15施設/3年)
大都市圏 ⁽¹⁾	 19,419人	 82,451円/部屋	 55,436人	 26施設⇒54施設 (+28施設)	従来同様のペースで 開設を継続 (~60施設/3年)
地方 ⁽¹⁾	 5,515人	 58,315円/部屋	 21,039人	 27施設⇒52施設 (+25施設)	

注：

1. 大都市圏：埼玉県、千葉県、神奈川県、愛知県、京都府、大阪府、兵庫県 / 地方：東京都と大都市圏を除く都道府県
2. 厚生労働省「人口動態調査 令和4年度」をベースに、各地域の死亡者数合計を都道府県数で除した数値
3. 当社HPに開示している各地域に所在する各施設の賃料・管理費の平均値（24/7/1時点）
4. 日本看護協会「看護統計資料」のI.就業状況 1.就業者数（6）都道府県別看護職員、人口対比（2021年）を基に、各地域の登録看護師・准看護師数合計を都道府県数で除した数値
5. 25年7月末時点の施設数は、24年8月8日時点で開設決定を公表済の施設について集計した数値

- 医心館の運営等で獲得したノウハウを活用し、構造的に経営が困難とされているへき地での医療機関の総合的支援等含めた、周辺事業への展開を企図

中長期の成長戦略



保険報酬に依存しない事業の構築

地域医療再生事業の構築

展開地域及び対象入居者層の拡大 (M&Aを含む)

既存医心館事業の拡大

TSR（株主総利回り）を重視した株主還元方針

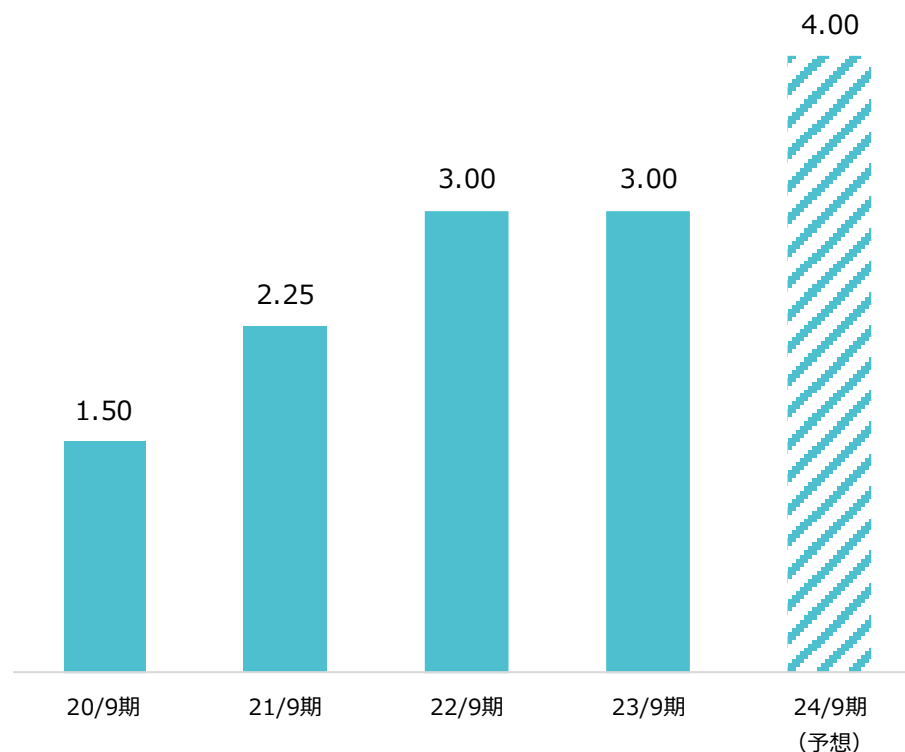
- 24年9月期の1株当たり配当金は、前年度対比1円増配の4円を予想
- 中長期的に、TSR（株主総利回り）を重視し、成長ステージの変化に関わらず安定した利回り提供を企図

株主還元基本方針

- 株主に対する利益配分を重要な経営課題として捉え、医心館事業及びその周辺領域への事業展開と経営基盤の強化を図るための内部留保資金を確保しつつ、株主還元を実施し、企業価値の向上を企図
 - 株主配当：安定的な株主配当を基本とし、市場環境、規制動向、財務健全性等、総合的に勘案し、年1回の期末配当を実施

1株当たり配当金の推移(1)

(円)



注：
1. 20年4月1日付、22年1月1日付、22年10月1日付の株式分割考慮後の1株当たり配当金を記載

本資料には、当社に関連する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述が含まれています。これらは、当社が現在入手している情報に基づく、本資料の作成時点における予測等を基礎として記載されています。また、当該記述のために、一定の前提を使用しています。当該記述または前提は主観的なものであり、将来において不正確であることが判明したり、実現しない可能性があります。このような事態の原因となりうる不確実性やリスクは多数ございますが、詳細は、当社の決算短信、有価証券報告書をご参照下さい。なお、本資料における将来情報に関する記述は、上記のとおり本資料の日付時点のものであり、当社は、それらの情報を最新のものに随時更新するという義務も方針も有しておりません。

【お問い合わせ先】

株式会社アンビスホールディングス 財務部（IR担当）

電話：03-6262-5085 / Email：ir_contact@amvis.co.jp